

## 第 17 回 国立大学法人信州大学学長選考・監察会議 議事要録(案)

日 時 令和8年3月25日（水）14時25分～16時47分  
場 所 本部管理棟5階第一会議室（WEB会議システムを併用）  
出席者 上野，小川，神田，熊谷，白鳥，徳楽，中島（議長），野原，萩本，金井，西，廣  
瀬，玉木，奥山，香山，米倉，村上，永松 各委員  
欠席者 なし  
陪 席 空閑監事，廣田監事

### 配付資料の確認

### 前回議事要録の確認

議長から，第16回学長選考・監察会議議事要録（案）について諮られ，承認された。

### 議 題

#### 1 令和7年度学長の業務執行状況の確認について

議長から，資料No.1に基づき，前回の本会議において，令和7年度の学長業務執行状況の確認については，学長との意見交換を行った第15回本会議（令和7年11月26日開催）の議事要録（案）を承認いただくことにより，学長の4年目の業務執行状況の最終確認とさせていただくことになっていたが，意見交換の論点を加筆するべきとの意見があったことを受け，当該論点（入試，共通教育の在り方，教育と研究のバランス，現在の教員組織における問題点，長野県との連携強化）を加筆修正した旨の発言があった。

続いて，議長から，このことについて諮られ，審議の結果，承認された。

続いて，議長から，本承認をもって，学長の就任4年目業務執行状況の確認を完了した旨の発言があった。

#### 2 学長選考について

議長から，前回の本会議において，学長選考に関する検討の進め方については，「①現状認識（本学を取り巻く現状の課題と，今後の将来像（ビジョン）について）」、「②リーダー像（その課題を解決するために，次期学長に求められる資質，能力とは何か）」及び「③制度の方向性（①及び②を踏まえ，他大学の状況も参考にしながら，学長任期を含む学長選考のあり方の検討）」の3つのステップを踏まえて行うことが了承されており，前回の本会議は「①現状認識」についての意見交換を行ったこと，今回は前回の意見交換によって現状についての認識がある程度固まってきたと認識しており，それを整理した資料No.2に基づき意見交換を行いたい旨の発言があった後，事務局より当該資料の概要の説明があった。

続いて，議長から，このことについて諮られ，主に以下のような意見が出された。

#### 【グローバル化】

グローバル化は重要であり，将来を見据え研究大学としての発展に不可欠であるため，資料No.2の記載に追加すべきである。

#### 【分散型キャンパスの捉え方】

5つのキャンパスが独自の文化と歴史を持ち，分散して存在することを「一体感を欠く要因」とネガティブに捉えるのではなく，各地域・各学部の特徴を活かした「信州大学の特徴」としてポジティブに捉え，今後学部間の連携を強めることで，さらなる発展に結びつけていくことが望まれる。学長が組織全体のビジョンを描きトータルマネジメント，ヘッドクォーターの役割を担う一方，各学部・各キャンパスのマネジメント人材による主体的運営も重要

である。

#### 【リーダーシップと部局マネジメント】

必要時に学長がリーダーシップを発揮して決断を下す必要がある一方、各部局の教職員の理解を広く得るよう努めることが重要である。

#### 【地域・社会連携】

- ・長野県内各地域との連携は本学の大きな強みであり、産学官に「民」を加えた四者連携や社会連携をさらに強化すべきである。また社会との連携という観点では、メディアや他大学との連携も重要である。
- ・本学の特徴である地域との連携を基盤としつつ、長野県をはじめとする自治体や産業界との関係を一層強化し大学の社会的な役割を高めていくこと、また地域課題の解決や産業振興に資する教育研究活動を推進する観点から大学全体としての連携体制のあり方の検討を深めることが重要である。さらに自治体・産業界との連携は、外部資金の獲得や地域課題解決の観点からも不可欠であり、大学全体として戦略的に推進することが求められる。

#### 【教職員のケア】

資料 No. 4-3-5 令和 6 年度監査結果報告書（令和 5 年度監事意見に関する事項）に基づき、事務職員のメンタルヘルスを起因とする休職者の増加への対応や、教職員が安定して能力を発揮できる職場環境の整備も持続可能な大学運営のために重要課題として認識すべきである。

#### 【大学の存続と持続的発展について】

- ・本学は現在、大型研究プロジェクト「J-PEAKS」の採択などにより外部から一定の評価を受けている。一方で、その成果を大学全体の教育研究基盤の充実や組織運営の持続性にどのように結び付けていくかが重要な課題である。
- ・国の予算が厳しくなる中、外部資金の獲得等の経営的な面での検討も重要となる。

続いて、議長から本日出された意見を反映させ、資料 No. 2 をブラッシュアップし、これを基に、次回の本会議で「次期学長に求められる資質能力（リーダー像）」の共通認識を深めていきたい旨の発言があった。

また、議長から、選考スケジュールを考慮し、臨時の会議を開催する必要がある、候補日として令和 8 年 4 月 21 日（火）13:30 からの開催を提案したところ、複数の委員から出席ができない旨の指摘があったため、事務局で再度日程調整を行うこととなった。

また、委員から、本臨時会議の開催趣旨について、令和 9 年 3 月の次期学長候補者決定に向け、令和 8 年 10 月 1 日の本会議では選考手続きを決定する必要があるため、今回提案された臨時会議を含め、同日までに全ての手続きを決定させるという理解で相違ないか照会があり、議長からその通りである旨の回答があった。

### 3 次期学長選考手続について （審議には至らなかった。）

次回の開催について：未定

以上